

令和4年3月25日（金）新聞発行番号 14

住民主体の有償ボランティア活動「チームつながり」事業

高齢者等へのちょっとした困りごとに対し、「ありがとう」「おたがいさま」のところで地域のご縁をつなげます。

ながいずみ支えあいの会発「チームつながり」

高齢者の「ちょっとした困りごと」を地域で助け合うしくみ有償ボランティアチームつながり事業がスタートしました。南小圏域協議体 AYUMU ではラジオ体操と並行して立ち上げ準備をしています。今後北小圏域での立ち上げも検討していく中で、全域での協力体制が必要になります。全域でのたすけあいのしくみづくりに向けてご協力よろしくお願いします。（この生活支援サービスは、地域のつながりを大切にした活動です。）

担い手養成講座開催

高齢者等が日常生活を送るうえで生じる「ちょっとした困り事」解決に向け地域の担い手として必要な知識を習得し人と人との絆づくりをすすめる安心・安全に暮らせる地域づくりを目指します。

12/1(水)
第1日目

認知症の人を地域で支える
(有)ハーベストライフ
代表取締役 宮本光也氏
(認知症介護指導者)



12/8(水)
第2日目

高齢者の外出支援
認定 NPO 法人
全国移動サービスネットワーク
副理事長 河崎 民子氏



12/15(水)
第3日目

社会参加 地域の支え合い
ご近所福祉クリエーター
酒井 保氏



チームつながり事業の説明と傾聴アドバイス。受講後、会員登録者にはビブスと会員証をお渡しします。



マッチング



各第2層協議体の住民主体の活動は、第1層協議体構成員、所属団体協力のもと、長泉町介護支援専門員連絡会（ケアマネジャー）や民生委員・児童委員協議会などで紹介しています。



長小圏域協議体ながいずみ支えあいの会には子育て世代が参画しています。「ありがとう おたがいさまのところで」これはチームつながり事業の立ち上げに向けた会議で生まれた言葉です。そしてその言葉にクローバーを乗せて子育て世代の構成員がデザインしたロゴは本事業を象徴するロゴに承認されました。（第1層協議体、第2層協議体会長、各 SC）協議体構成員にはクローバーピンバッジ及び背中にロゴが入ったビブスを全員にお渡しします。圏域で活躍する担い手、ボランティア用にビブスをお渡しします。たすけあいを象徴するロゴとしてひろく周知をしていきます。



協議体構成員研修・講座案内

第1位
獲得

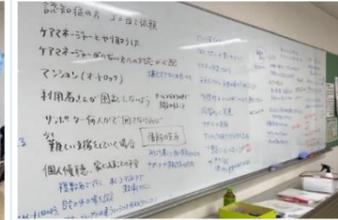
いきがい・助け合いサミット in 神奈川



昨年9月に開催された「さわやか福祉財団主催いきがい・助け合いサミット」において協議体活動紹介ポスター1位を獲得しました。現在機関誌の取材を受けており「さあ言おう4月号」で掲載される予定です。



ながいずみ支えあいの会勉強会



長小圏域協議体

生活支援サービス「チームつながり事業」勉強会を開催しました。立ち上げに向けて講師へ質問形式での勉強会となりました。(講師：日本ボランティアコーディネーター協会)

アンケート調査

町内の居宅介護支援専門員事業所（ケアマネジャー）と訪問介護事業所（ヘルパー）へアンケート調査を行いました。介護保険サービスでは賄えないことで、住民活動に期待すること、現在サービスがなく高齢者が困っていることなどニーズを中心に設問を選びました。アンケートは現在集計中です。まとまり次第、第2層協議体及び生活支援コーディネーターと共有します。今後の活動の参考にさせていただきたく幸いです。(実施：第1層SC、長寿介護課協働)

AYUMU オンライン会議

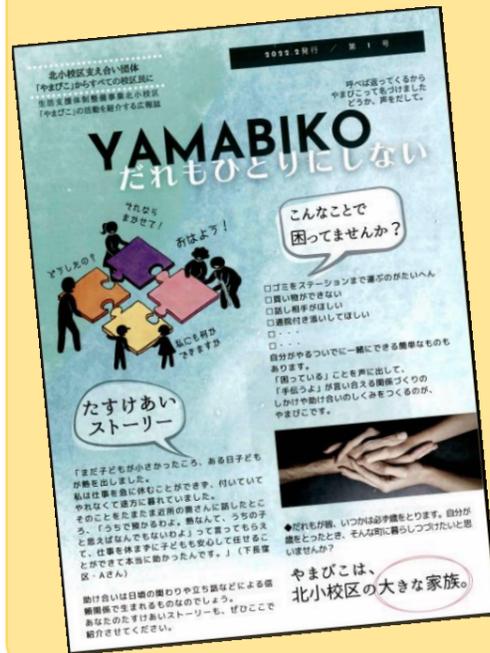
南小圏域協議体 ZOOM 会議



南小地区地域包括支援センターへ住民から「ゴミ出しをしてほしい」と困りごと相談がありました。AYUMU 生活支援コーディネーターはAYUMU 会長に相談。ながいずみ支えあいの会チームつながり事業についてノウハウを共有し、南小圏域での「生活支援サービス」立ち上げに向け準備中です。

やまびこ広報発信

北小圏域協議体



「助け合いの重要性や自分たちの活動を知ってほしい。」やまびこのオリジナルチラシが完成しました。このチラシは協議体構成員から各区長へ依頼し広報に折り込み、北小圏域に配布しました。広報への折込みは協議体構成員の協力のもと、約6,000世帯分手作業での人海戦術。チラシを読んだ住民から、SCへの問い合わせや反響もありました。チラシの作成は子育て世代の協力を得ながら、第1号やまびこ広報が完成、配布されました。

住民主体活動(協議体)取組み報告会



報告の様子

さわやか静岡インストラクター(さわやか福祉財団)から協議体活動報告の依頼があり、AYUMU 会長とながいずみ支えあいの会役員からオンラインで報告をしました。函南町の協議体、掛川市の協議体、御殿場市の報告者と活動を共有。今後は町外の協議体構成員同士の交流会などを予定しているとのことです。ご報告ありがとうございました。

第2層SC連絡先

※SCとは生活支援コーディネーターの略称です。

- 北小圏域 相澤SC 055-941-5335
- 長小圏域 室岡SC 055-989-5537
- 南小圏域 元原SC 055-918-2121

お知らせ

この生活支援体制整備事業新聞は、各協議体の活動の見える化を目的に、協議体設置から今日までの発行してまいりました。各協議体で住民主体の広報チームが活躍し活動が充実しています。これは住民同士の助け合いの心から誕生したものです。今後は、町広報誌等を活用し更なる住民への周知啓発に努め、住民主体の見守りやフレイル予防、生活支援サービスの充実に向け、協働し取り組んでいきます。

発行元 問合せ

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会
長泉町下土狩 967 番地の2 福祉会館内
TEL 055-988-3920 担当：渡邊 SC